

NEW GARGE MOVIES FOR THIS CITY

インディーズムービー INDIE'S= MOVIE

CINESALAD PRESENTS

AUG 31 1991
NO. 5
STAFF / 斎藤拓生
伊藤新一郎
岸原清史
吉田一正

10・6 上映会 決行!!

前号でお伝えした上映会のラインナップが、ほぼ決定しました!!

今回はエンターテインメント中心! とりあえず決定済の物を紹介しましょう。
昨年の上映会で評判の作品を要望に応じて再公開 「仮面ライダースペシャル」
心躍るファンタスティック・ストーリー 広島からの招待作品 「悪魔の誕生日」
そして今回の超眼玉、伝説の名作「エスパレイザー」が特別招待作品として上映されます!!

監督は「地球防衛少女イコちゃん」で有名な、現在プロとして活躍中の河崎実、特撮造型は「ゴジラ VS ビオランテ」の品田冬樹、制作協力・出演に、「帝都大戦」の監督、EXEの一瀬隆重、「星くず兄弟の伝説」の手塚真、ナレーションはあの石坂浩二、イラストレーションに「日マン」の森田次郎と、目もくらむようなスタッフが結集して、エスパーを扱った超能力者、エスパレイザーの戦いがスクリーンせましく繰り広げられます!

10年近く前とはいえ、現在プロとして活躍中の人々のアマチュア時代の作品です(観たえ充分)



10月6日、戦災復興記念館に急ごう!

インディーズ
ムービー
セレクション
SPECIAL

↑命令形(笑)

映画をつかってみたい!
そんなあなたに贈る
フツーじゃない映画がみたい!

自主製作映画
の情報紙!!

新作情報局 B'AMBBI

映画のサークルにいても脇役程度で殆どまともに演技したことなごなかつたので、出演が決った当時、「私にできるかしら」と迷いました。でも遠藤監督をはじめスタッフの皆さんの「映画を作ろう!」という気遣いに押され撮影が始まてからは、「いつの間にかやっていた」という感じで自然にまきました。

今回は、シネサラダプロジェクトで製作の進行している「B'AMBBI」
「フィルムどころがる話」の2作品についてそれぞれの主演女優さんにお聞きしました。



遠藤喜一郎監督作品
寒い春からクソ暑い夏にかけての思い出がっまってます。一生モノだコソッペ!



中にも思い出深かったのは、やっぱり海でのラストシーンです。楽しい(?)ラブシーンですの、みなさん期待して下さい。この日の撮影は6月だったのに日ざしは強く半ズボンだった私はすっかり日焼けの線が残ってしまいました。これを見る度にこの日のこと思い出します。他にもダンスシーンやピクニックのシーンなど見どころ一杯です。公開をお楽しみに!!

☆☆ フィルムの話 (仮) ☆☆



◆撮影で印象に残ったことは?
映画って、ビデオと違って新しい1つの世界を作ってしまうんだなあというのが素直な印象です。幼い頃、叔父に8mmで撮ってもらったのを思い出しました。
作品が、でき上がるまでわからないというものがドキドキしますよね。

◆特に気がついた点は?
うーん、何もかもが初めての体験で自分が何をしたらいいのか分からなくて。撮影が少しでもスムーズになればなあ...と思っていただけで何もできなかった様な気がします。役作りは、スタッフがお互いに納得できるまで話し合うことが大切だと思っていたので紅茶1杯で何時間も議論を重ねたのはよかったと思います。

◆映画に出演してみたいの感想は?
自分がフィルムに映っているのを見て初めて、「ああ、映画に出たんだなあ(笑)」と実感しました。映画に出演するというより、作品を作るために人が集まり、互いの夢を共有しあうことが楽しかったです。今後また、このような機会があったらもっと自己表現できるような作品に参加してみたいです。

◆最後にこれから映画に出てみようという人へ一言
演技の経験を問わず楽しんで参加できるのが「シネサラダ」だと思います。自分の特技を生かせたら素敵ですね。スタッフの鋭い観察力は大変勉強になりました。日常生活で感動できることたくさんあるんだなあって気がついたり、自分や周囲を見まわして発見できることって色々あるんだなあと思いました。ゆったりペースで1つのものをじっくり作ることができるので誰でも参加できると思います。

◆撮影で一番苦労したところは?
天気! それとなれないお化粧(笑)。そうそう、なかなか衣装が決まらなくて悩んでしまいました。今度は専属のスタイリストをつけてください(笑)。

主演の佐々木美穂さん
斎藤拓生監督作品
完成まちか! 期待せよ!!